

## ショートコメント vol.74 (2017年6月23日)

**テーマ：トワイライトエクスプレス瑞風が埋める関西のラストピース**  
**～関西の「訪日客2千万人時代」に不可欠な観光コンテンツ～**

### ●豪華寝台列車の運行開始

6月17日から、JR西日本の豪華寝台列車「トワイライトエクスプレス瑞風（TE瑞風）」の運行が始まり、大きな話題となっている。このTE瑞風は、京都・大阪と下関を結ぶコースを周遊するもので、1泊2日コース（27万円～78万円）と2泊3日コース（50万円～125万円）が用意されている（※価格は6～9月の第1期募集分）。

今回のTE瑞風の登場により、関西の観光コンテンツにラグジュアリーなラインアップが加わることになるが、その意味合いは非常に大きい。昨今の観光市場においては、特にインバウンドに対するラグジュアリーな製品、サービス供給の重要性が高まりつつある。TE瑞風が殊更インバウンドを意識したものであるにせよ、様々な所得層のインバウンドが来訪する中、対応するコンテンツも各層に応じたものが求められている。

関西は全国的にみても観光コンテンツが豊富であり、そのラインアップも充実しているが、足りないものがあるとすれば、高所得層向けのラグジュアリーなコンテンツであった。TE瑞風だけで埋まるものではないものの、これを嚆矢として、順に拡充が進むことが期待される。

### ●カギを握るインバウンドの取り込み

TE瑞風は6～9月の予約がすでに埋まっているなど、非常に順調な滑り出しをみせている。

ただし、九州などでの先行事例があるとはいえ、数十万円、あるいは百万円を超える高額な商品であり、ひとまずは食事をはじめとする一連のサービスが、利用者を満足させるものかどうかが問われよう。一つのパロメーターとしては、リピーターの利用があるかどうか注目される。

その一方、やはり中長期的にはインバウンドの取り込みがカギを握ることになるのではないかと。今後も増加が続くとみられるインバウンドをターゲットとしない手はなく、それが軌道に乗れば、中長期的な需要の確保にもつながる。

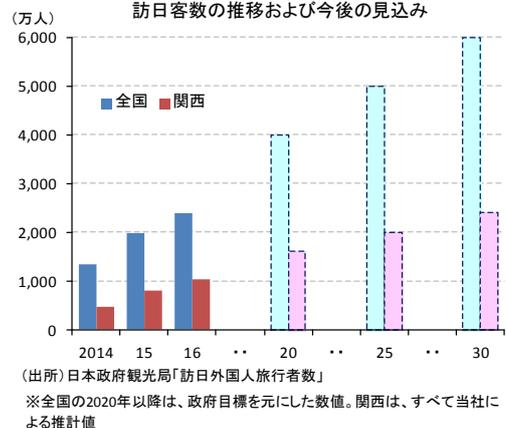
それに伴う副次的な効果として、TE瑞風での旅をきっかけとした、関西の伝統や文化への関心の広がりなどにも期待がもたれよう。

### ●関西の訪日客2千万人時代に向けて

インバウンドに関していえば、関西への訪問率は40%前後と非常に高い水準にある。つまり、全国の訪日客が5千万人を突破すると予想される2025年頃には、関西への来訪数も2千万人を超える可能性が高い（図表1）。

それと前後して、まだ不透明ではあるものの、IR（カジノを含む統合型リゾート）なども開業する可能性があることを考えれば、その頃に関西のインバウンド市場は新たなステージを迎えることになる。ラグジュアリーな商品・サービスへの需要も増えることが予想される中、豪華寝台列車による

【図表1】 訪日客数の推移および今後の見込み



※本稿は情報提供が目的であり、商品取引を勧誘するものではありません。また、本稿は当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。なお、本稿に記載された内容は執筆時点でのものであり、今後予告なしに変更されることがあります。

旅行というコンテンツは貴重な存在となろう。

### ●第2、第3のTE瑞風の登場に期待

もちろんTE瑞風への需要はインバウンドに限ったものではなく、シニアを中心とした国内客の動きにも期待が集まる。列車そのものの魅力と、沿線の観光資源の魅力、心に残るサービスがうまく合わされば、リピーターの獲得を含め、国内客による息の長い人気につながるのではないかと。

今回のTE瑞風の登場により、九州の「ななつ星 in 九州」、東日本の「トランススイート四季島」と合わせて、豪華寝台列車のラインアップが出そろおう。消費者の間での認知も広がり、新たな市場の確立にも期待が集まる中、TE瑞風自身の運行ルートの増加、あるいは関西における第2、第3の豪華寝台列車の登場も十分にありえるのではないかと。

本件照会先:大阪本社 荒木秀之  
TEL:06(4705)3635 mail:hd-araki@rri.co.jp

※本稿は情報提供が目的であり、商品取引を勧誘するものではありません。また、本稿は当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。なお、本稿に記載された内容は執筆時点でのものであり、今後予告なしに変更されることがあります。